

年 組 名前：

## 海賊版「ただ読み」やめて

### 文化庁 若者向けに動画教材

文化庁が海賊版で漫画の「ただ読み」などの著作権侵害に加担しないよう高校生ら若者に呼びかける動画教材を初めて制作、同庁ホームページで23日に公開した。

音楽、映画なども含めた著作物を無断で無料公開する海賊版サイトは、アクセス数に応じた広告料収入が主な資金源。スマートフォンを頻繁に使う世代に閲覧抑止を直接呼びかける狙いだ。

動画は約10分。著作権の仕組みや「ただ読み」関連の被害が2022年は約5069億円に及ぶ実態を紹介。海賊版は制作者に利益が還元されない「盗まれた物」と強調し、個人情報漏えいなどアクセスした人がリスクを抱える点にも触れる。

授業での視聴を想定し、教員向けの指導演、生徒自身が考えを深める作業シートもページ内に載せている。

(2023年5月24日付 山梨日日新聞 20面)

問1 文化庁が、記事にある動画を制作した理由を教えてください。

.....

問2 2022年の「ただ読み」による被害額を教えてください。

.....

問3 海賊版は、制作者と海賊版をアクセスした人に、どのような影響がありますか。

・制作者： .....

・アクセス者： .....

問4 あなたは、「著作権」がなぜ必要だと考えますか。

.....

.....